

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難行動 ～平時の準備と避難の判断～

新型コロナウイルス感染症のおそれがある中で、自然災害が発生し避難所に避難する場合には、感染症対策に万全を期することが重要です。まずは自分がお住いの場所をハザードマップで確認し、災害が発生した場合にどのように避難するか考えておきましょう。

避難行動のポイント

避難所には多くの避難者が集まり、感染症の発症リスクが高まります。マスクの着用など自分の身は自分で守る「自助」の備えが大切です。

避難の検討

○避難の判断

避難とは「難」を「避ける」こと、つまり安全を確保することであり、安全な場所にいる人は、避難所に行かないという選択肢もあります。

避難先の選択

○親戚や知人宅への避難

避難所だけが避難場所ではありません。安全な地域にお住いの親戚や知人宅等への避難も有効ですので、日頃から相談しておきましょう。

○避難所への避難

避難所へ避難する場合は、マスクを着用していきましょう。また、咳やくしゃみを人に向けないように、咳エチケットに心がけましょう。

体温計、マスク、手指消毒液（石鹼）、タオル、スリッパ、ビニール手袋など感染防止に関する物品は、各家庭でお使いのものを避難所へ持ち込みましょう。

移動に車を利用される場合は、早めに行動するなど避難のタイミングや避難経路などに十分注意しましょう。

※自宅での避難における注意事項

自宅の災害の危険性を確認し、自宅での居住が可能と判断できる場合は自宅での避難もありますが、食料や水などの十分な備蓄が必要です。また、風水害の場合、垂直方向（2階など）へ避難することも検討しましょう。

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所運営 ～避難所での行動と心がまえ～

市では感染症対策として、通常よりも多くの避難所を開設するなど多くの避難スペースの確保に努めますが、避難所では地域の皆様の協力がなくては、円滑な運営が困難となりますので、助け合いの精神で、協力して困難に立ち向かいましょう。

避難所でのポイント

避難所では、密閉・密集・密接を避けるとともに、お互いに助け合う「共助」の心がまえが大切になります。

避難所での感染予防対策

- 避難所の受付では発熱や咳などの症状を確認し、体調の良くない方は専用スペースで待機していただくことがあります
- マスクを着用し、隣の人とは2メートル以上離れて過ごしましょう
ダンボール間仕切りや床への間隔表示の設置などを活用しましょう。
- ドアノブ等の共有部分に触れた後は、手洗い（消毒）を徹底しましょう
- 毎日、体温・体調のチェックをしましょう
朝・昼・夕の3回実施し、発熱や体調が良くないときは、すぐに相談しましょう。
- 食事は、居住スペース以外でとらないようにしましょう

避難所運営上の協力をお願い

- 定期的な換気を行いましょう
30分に1回以上、数分間窓や扉を開けるなど換気をしましょう。
- ドアノブ等の共有部分の消毒や、トイレ清掃は毎日こまめに実施しましょう
- 物品や食事の提供時は、手渡しを避けましょう
- ごみは各家族で、ごみ袋の口をしばって捨てましょう

その他の注意点

- エコノミークラス症候群の予防をしましょう
避難所のグラウンドや駐車場で車中に滞在される場合は、エコノミークラス症候群などの健康被害の予防のために、十分な水分補給や定期的な運動を行いましょう。